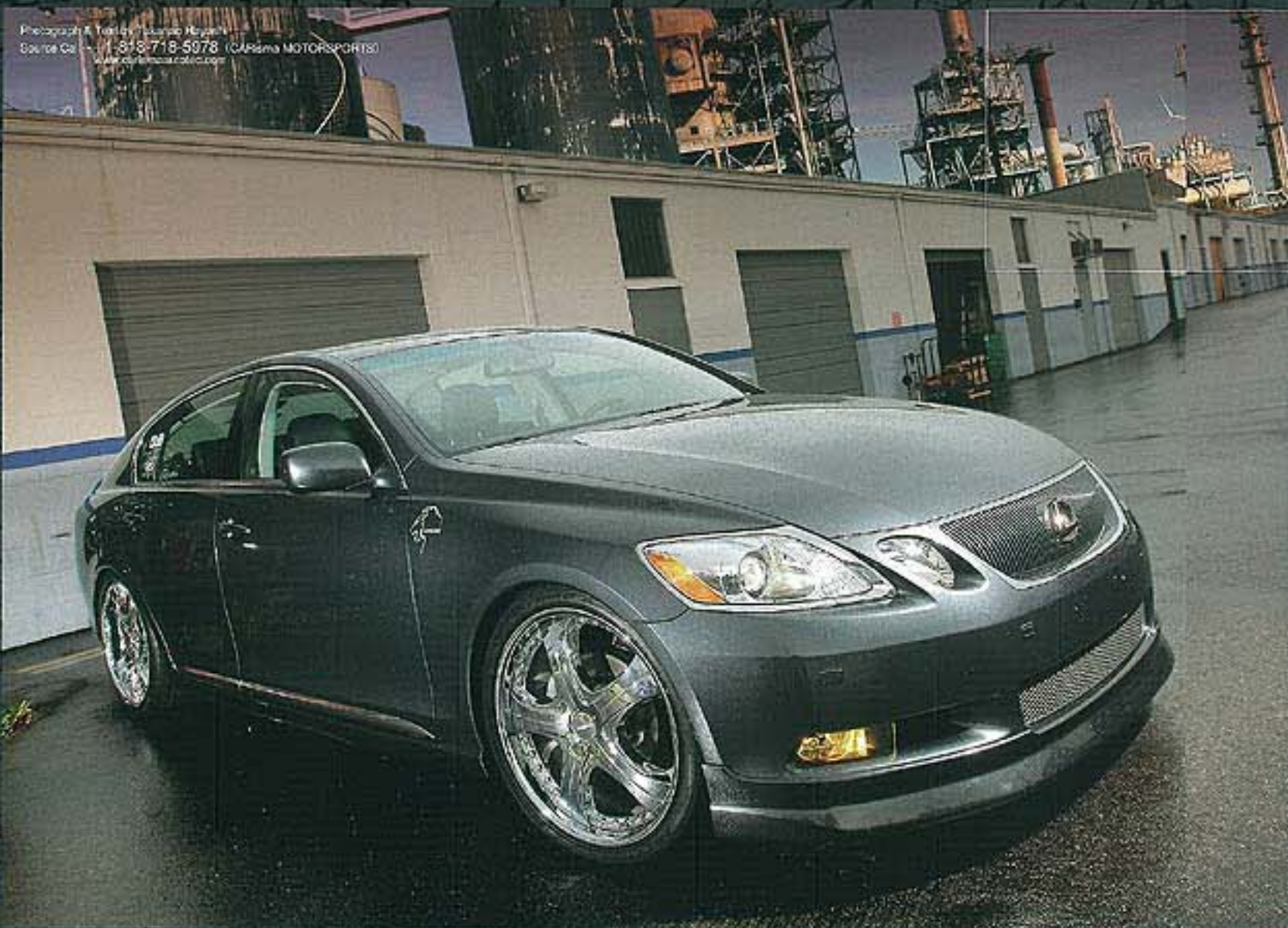




スポーツコンパクトで名を馳せスラムのカスタムショップ、CARisma (カリスマ) がラグジュアリー界に名を馳せ人々を魅了した。ボディキットはRANDOがデザインし、車高は10インチアップで1.25inchほど下げられている。ホイールはクロームでフィニッシュされたLeamenの20inchを履かされている。サイズは前後共に20inch、グリルの"LS"マークはリアのエンブレムはブラッククロームのモノに交換しクールなイメージを醸成。

Photograph & Text by: Masaru Miyoshi
Source Car: 318-718-5078 (CARisma MOTORSPORTS)
www.carisma-cali.com



ペントレーの最新モデル、コンチネンタル・フライングスパーも目立っているNEW COVERの1台、大はGWIN、小はGiovannaのクルマ、それぞれ22インチ。



MBZ CLSが好くはBMWのニューモデル、MSD、ターボットはロービアンパッセンジャーで、デザインはシンプルながらも確かな存在感を放つ注目のNEW RIMZ。

4ドアの中でも圧倒的に出陣台数が多かったMBZ CLS、その中でももちろんは韓国で展開するスポーツ形状が特徴のCOOLGORMを装着する。



右にAMUS、左にAUTO CULTURE Magique EX 2000ホイールを履くCLS、ボディキットにはエアロキットが装着され流線のようなボディに豪華感をプラス。



Sportsプールのクラス(W600)はSports Esquireのブラックフェイスをセレクト。ボディのホワイトとの対比が面白、ウーファーを4つ追加。

こちらはMBZ Gクラスのオープンカー、内装は35年にも上るデルタのデザイン、リアシートは取り外し可能なオープンカーに、トランクにはアンブレラボックス。



Giovanna出陣のSTS、ベース車としてではレアな存在、ホイールはGFG TRIDENTS、サイドスタックがGOOD。

DOBが仕上げた注目のニューモデルLEXUS LS、TIG 60 20リムとANCELTONのグランドエフェクトを装着し、グリルホイールのボディカラーにフィニッシュ。

こちらはMBZ Gクラスのオープンカー、内装は35年にも上るデルタのデザイン、リアシートは取り外し可能なオープンカーに、トランクにはアンブレラボックス。

オールブラックで流線あるBMW 7er、ボディキットはWALD 2ndや3rdをプラス、ホイールはAGANII A1122 22、ランプまでブラックアウトされている。



FOUR-DOORS

US SEMAでダークフォース的存在だったのがセダン、プースに並ぶクルマにはセダンボディが多く、とくにユーロモデルに人気が集まっていた。ぱっと見の派手さはないものの、ボディキットによって確実にその迫力が高められていて、MBZ CLSなどは今後さらにその勢を増しそうだ。

GSに組み合わさるはVENERDI herboriusのスポーツな5スポーク。

同じDOBがLEXUS GS、RANDOのボディキット、amr/nerのエアサス、TIG 60 22インチインストール。

Exposure with Far East

The Luxury brand of Japan attracts attention now.

GS300 above Lowenhart_LD5_22" feat. RANDO Style
Powered by CARisma MOTORSPORTS

Channel:003

CARisma automobile tech. スポーツコンパクト会場特別にあらゆるデモカーを製作し、雑誌の表紙や誌面を飾ったのはもちろんのこと、カーショーでも数々のトロフィーを獲得したLA有数のスペシャルショップである。そんな彼らがラグジュアリーカスタムにシフトし始めたことはLUXGとしても事前にキップしていた。しかしSEMA SHOWといきなりUS VIPスタイルのマシンを出展するとは考えでもみななかった。さすがにアメリカのカスタム業界に深い根を下ろしているだけあって、シーンの動向に対するレスポンスは極めて早く、鋭い。

ボディに配されたエンブレム類は、そのすべてがブラッククロームの製法に交換されている。フロント・マイカという純正色に通常のクロームでは、あまりにもエンブレムが浮き過ぎてしまうので、地元のディーラーで購入したらしい「アメリカのディーラーでは、ゴールドクロームのエンブレムやさまざまなデザインのナンバープレートフォルダ、LEXUSグッズなどが販売されている。ホイールはラグジュアリーの特級ブランド、Lowenhart LD6の20inchである。そしてトランク内にはウーファーBOXを設け、10inchのサブウーファーを2台搭載している。

現時点ではまだカスタム途上というのだが、一度カリスマの手にかかればアワード級のショーカーが完成することは必至だ。その時はまたLUXGでしっかりとお伝えしよう。



まだ制作段階というところでストックの増加を促したままのインディアン、スピードスターはマイカと黒の組み合わせ、アメリカでメインとなるマル表示が別個に入ると、ネロ表示が内装に多く取り込まれる。トランク内にはロケットの型を複製して、小さなウーファーBOXがセットされている。サブウーファーも10inch×2個の組み込み、これはオーナーであるカリスマの仕事を賞賛したばかりがGSを楽しむに足らぬだろう。将来的にはラウンジシステムで楽しむこともできる。



人だかりの中心にいるのは...
多くのセレブが普通に会場を歩いているのもSEMAならではの、今年運送したのは左から、ご存知FUNKMASTER FLEX、俳優 EDDIE GRIFFIN、ヤンキース4番バッター Gary Sheffieldなど。



KEN STEVENSのインペリアルポインター、サイドスカートでシャープネスを際立たせたFLGAのフォルム、ホイールはUS15520、Jブランドがキャクソリーの注目品を飾る。